

科 目 名	物理	普通科選択 3年次・4単位
目 標	物理現象の基本的な内容を中心に学習を進め、多様な物理現象を説明する基本的な概念や法則について深く理解できるようになる。	
位 置	日常生活で観察される物理現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験	
づ け	などに関する基本的な技能や思考力を身に付けるようにすることが大切です。	

■使用する教材 ・問題集 ・プリント ・物理の教科書 ほか		■学習する単元とおおよその時期 ・波・・・・・・・・波の伝わり方【4～5月】 音の伝わり方【5～6月】 光【6～7月】 ・電気と磁気・・電場【7～8月】 電流【8～9月】 電流と磁場【9～10月】 ・原子・・・・・・・・電子と光【10～11月】 原子と原子核【11～12月】 ・問題演習・・・全範囲【12～2月】	
■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法 各単元の内容の基本的理解を進めていきます。黒板の板書ではなく、自身にとって最高の参考書となるノート作りを目指し、真剣に授業に臨みましょう。問題演習では実践的内容を想定したものを精選して取り組んでいきます。			

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 日常生活や社会との関連を図りながら、物理現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験など基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物理現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現でき、科学的に探究している。	物理現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったり、科学的に探究しようとしている。
	B 物理現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。科学的に探究するために必要な観察、実験など基本操作を身に付けている。	物理現象から問題を見だし、観察、実験などを行い、得られた結果を分析し、表現でき、科学的に探究している。	物理現象に関わり、見通しをもったり振り返ったり、科学的に探究しようとしている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	定期考査、小テスト、実験 課題の提出内容	定期考査、小テスト、思考実験 実験	授業中の参加態度 課題の提出状況

- 自己評価について**
授業評価と連動させた Google フォームで、実施します。
- ・生徒自身が3観点について、振り返る
 - ・生徒自身の取り組み方について